

カケガワザクラと雑種のサクラ

杉野孝雄

表紙のカケガワザクラ（掛川桜）は2011年に、掛川の山地で山取りされ、飾られていたのが発見され命名された。カワヅザクラ（河津桜）に似ているが花期が10日～2週間遅いのが特徴で、花の色がより濃く、下を向いて手毬状に開花する。形態的な違いとしては、萼片が卵状三角形、全辺で鋸歯がない。「日本花の会」が2014年にカンヒザクラ系統の新品種と認定している。

静岡県内では次の雑種が見られる。

カワヅザクラ：原木は河津町の天然記念物。野生状態で発見移植される。

シュゼンジカンザクラ：伊豆修禅寺に大木が植えられている。

フナバラヨシノ：伊豆の船原峠で竹中要が発見した、ソメイヨシノの類似種。

オオカンザクラ：早咲きのオオシマザクラとカンヒザクラの雑種。



1. カケガワザクラ



2. カケガワザクラ



3. カワヅザクラ



4. シュゼンジカンザクラ



5. フナバラヨシノ



6. オオカンザクラ